

①資料の提示→予想を立てる



昔の新聞かな？
いつの新聞だろう。



1921年6月23日って、書いているよ。
今から104年前だね！



「ビオフェルミン」
「ヒゲタ醤油」という言葉も
見つかるね！

実は、この新聞は
台湾で配られていた新聞です。



ヒゲタ醤油 銚子醤油株式会社 千葉縣銚子港（1921年06月23日）。
臺南新報，第8版。國立臺灣歷史博物館近代臺灣報刊資料庫。
<https://newspaper.nmth.gov.tw/search/detail/R-04-000204-783568>

② 学習問題を立てる

なぜ、台湾で日本語の新聞が配られていたのか？



台湾と日本との何かしら関係があったのかな。

105年前の日本と台湾について調べてみたいね。



この新聞は台湾に住む日本人のためだったのかな。そんなに多くの日本人が住んでいたのかな。



- ③調べる（参考：教育出版「小学社会」令和2年印刷,p188-p191）
教科書LOD 「2 日本の歴史：9 近代国家を目ざして」
<https://jp-textbook.github.io/AA/100000002/116>

なぜ、台湾で日本語の新聞が配られていたのか？

(調べたこと)

- ①日清戦争により、台湾が日本の領土となる。
- ②学校では教育勅語に基づく教育が行われ、日本語が国語として教えられた。

④ 深める、活かす

大漁がもたらした「いわし文化」

地引網の伝播と発展

いすみ市岬町の太東岬から飯岡の刑部岬に広がる雄大な九十九里浜は、江戸時代の中期刊ころから昭和初期にかけて、鰯の一大漁場としてその名は全国に知られていた。幕末の大漁期には「九十九里大漁節」が歌われるようになり、その様子は「五つとせー いつ来てみてもこの浦は、粕や干鰯で席がない、浜大漁だね」と、漁民のみならず広く歌われた。 [続きを読む](#)

諸説あるが、18世紀後半頃、日本で有名な地引網の漁法を日本人が台湾の方に伝授したという話もある。他にも、日本と台湾は様々な分野で関わりがあるので調べてみよう！



斎藤四郎右衛門家の大地曳船(明治35年)1



斎藤四郎右衛門家の大地曳船(明治35年)2



地曳網漁風景(明治35年)

大網白里市／大網白里市デジタル博物館収録
『大漁がもたらした「いわし文化」』

<https://adeac.jp/oamishirasato-city/top/topg/iwashi.html>